

金沢21世紀美術館友の会 Special Event

カンパニー・デラシネラ ロミオとジュリエット



2016.5.4 静岡ストレンジシード 撮影：山口真由子

1

2016年8月6日(土)、7日(日)

見たことのないロミジュリ!? 古典ってこんなに面白い!
カンパニー・デラシネラがお送りする、観客参加型名作古典劇
石川県能美市出身のダンサー・崎山莉奈がジュリエット役で出演

イベント名	カンパニー・デラシネラ「ロミオとジュリエット」金沢公演
日時	2016年8月6日(土)、7日(日) 両日15:00開演 (開場30分前)
会場	金沢21世紀美術館 シアター21
料金	一般 2,500円、大学生 2,000円、高校生以下 1,000円、友の会会員 1,500円 ※3歳以下入場不可
販売開始日	6月11日(土)より販売中
主催	金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
助成	平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
お問合せ	金沢21世紀美術館 広報室 TEL 076-220-2814

取材申込み／問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当:川守(広報室／交流課) 事業担当:神門(広報室)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp
※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。



デラシネラ版「ロミジュリ」について

イタリアを舞台にしたシェイクスピア悲劇「ロミオとジュリエット」。争いを続ける二つの名家、モンタギュー家とキャピュレット家。それぞれの一人息子と一人娘であるロミオとジュリエットは、出会って一目で恋に落ちてしまった。しかし、二人を巡って様々な事件や行き違いが起こり、最後は二人とも死んでしまう。両家はその悲劇によって初めて和解を行う。

プロダクトデザイナーの石黒猛が本作のために製作した不可思議な道具と、デラシネラのパフォーマーの豊かな身体が非日常の世界を作り出す。舞台と客席の見えない境界線を取り払ったスタイルで、観客はいつの間にか物語に参加することになるでしょう。その場に居合わせた人たちだけが体験する特別な時間です。

原作 ウィリアム・シェイクスピア 翻訳 松岡和子

演出＝小野寺修二 衣装：堂本教子
 美術＝石黒猛 照明デザイン：吉本有輝子
 出演＝斉藤悠 照明：木藤 歩、吉田一弥
 崎山莉奈 音響：池田野歩
 王下貴司 舞台監督：竹井祐樹(STAGE DOCTOR)
 大庭裕介 イラスト：チャーハン・ラモン
 藤田桃子 制作：福島史子
 小野寺修二 協力：公益財団法人セゾン文化財団
 企画製作：カンパニーデラシネラ



2

イラスト：チャーハン・ラモン

特徴

1. マイムの動きと舞台美術で非日常を作り出す

演出の小野寺修二はパントマイム出身で、身体性に富んだ舞台作品を数多く発表してきました。五幕にわたる原作のうち台詞を最小限まで減じ、身体表現に重きを置いた手法で、登場人物の内面にスポットを当てます。また、プロダクトデザイナー石黒猛を美術家として迎え、作品中の様々な小道具が電動で動きます。デラシネラと石黒猛の美術によって異空間へと誘われ、舞台は観客の想像力によって大いなる非日常へと飛躍します。

2. 観客参加型の名作古典

400年前に書かれた古典を上演するにあたり、観客が単に知識(物語)をなぞるのではなく、いかに「自分」のこととして感じてもらうかが重要です。デラシネラ版「ロミジュリ」は舞台と客席の境界線を取り払う試みをいくつも盛り込んでいます。時に演者が客席に入り、観客が民衆や舞踏会参加者となって、事件や出会いを目撃する仕組みとなっています。観客が参加できるダンスの振付もYouTubeで公開されており、事前に練習しておけば、より一層楽しめます。

3. 石川にゆかりのある方が主要メンバー

今回、石川県能美市出身の崎山莉奈が、ジュリエット役で出演します。

また、デラシネラ主宰・演出の小野寺修二は、母方の実家が金沢にあり、金沢に並々ならぬ愛着を持っています。

金沢での公演は、2014年3月の「カンパニーデラシネラワークショップ&公演」以来、約2年半ぶりとなります。

関連企画 21美でフラッシュモブ!開催

フラッシュモブ(英: flash mob)とは、メールやSNSなどのネットを通じて示し合わせた不特定多数の人間が、広場や駅、空港などの公共空間で突如として同じ行為を行い、散会することを指します。

2012年、「F/T フェスティバル・トーキョー12」内のプログラムで、カンパニーデラシネラは、池袋西口公演にて、フラッシュモブを行い大きな話題となりました。

今回、金沢21世紀美術館でのフラッシュモブのために、「ロミオとジュリエット」に合わせた新作を発表する予定です。

日時:8月4日(木)14:00(予定)

会場:金沢21世紀美術館敷地内

※詳細は、追って、お知らせします。



3

ダンストリエナーレトーキョー(2012) 撮影：MILLA

プロフィール

カンパニーデラシネラ Company Derashinera

08年、小野寺修二セルフユニットとして設立。身体性に富んだ演劇作品に取り組み、マイムをベースに台詞を取り入れた独自の演出は、世代を越えて注目を集めている。国内での活動のほか、海外演劇祭への参加等多数。また、学校巡回公演や高校の芸術鑑賞会など次世代へのアプローチにも積極的に取り組んでいる。野外や美術館、アートフェスティバルなどへの参加も多い。白い劇場シリーズとして、15年3月にドストエフスキーの小説をベースにした『分身』、16年3月にアレクサンドル・デュマ・フィス『椿姫』を上演。



岡山県「海の劇場」(2014)

小野寺修二 ONODERA Shuji

演出家・カンパニーデラシネラ主宰。

日本マイム研究所を経て、95年～06年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを設立。15年には文化庁文化交流使としてタイやベトナムでワークショップと作品発表を行った。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。

〈近年の主な演出作品〉

『カラマーゾフの兄弟』(12年/新国立劇場)、『変身』(14年/静岡県舞台芸術センター)、瀬戸内国際芸術祭2013にて野外劇『人魚姫』、岡山県・犬島パフォーミングアーツ公演『URA-SHIMA』(15年)など。



5

撮影：石川 純

崎山莉奈 SAKIYAMA Rina

石川県出身。

幼少より清水舞踊スタジオにてモダンダンスを始める。高校3年間はhip-hopを習い、日本女子体育大学にてコンテンポラリーダンスを軸に活動。卒業後、和栗由紀男に舞踏を師事。海外公演に参加。カンパニーデラシネラでは、白い劇場シリーズ第一回公演『分身』(2015年3月/東京・シアターX)、第二回公演『椿姫』(2016年3月/東京・シアターX)、六本木アートナイト2015『ある夜の出来事』(2015年4月/東京・六本木)に出演。2015年冬、小野寺修二が文化庁文化交流使を務めたタイ・ベトナムでのワークショップや作品発表に参加。2015年10月、『大逆走』(赤堀政秋 演出/東京・Bunkamura シアターコクーン)に出演。2015年度より小野寺修二の振付助手を務め、『パール・ギュント』(白井 晃 演出/2015年7月/神奈川芸術劇場ホール)、『気づかいルーシー』(ノゾエ征爾 演出/2015年8月/東京・東京芸術劇場シアターイースト他)、KERA・MAP#006『グットバイ』(ケラリーノ・サンドロヴィッチ演出/2015年9月/東京・世田谷パブリックシアター)などの振付に参加。



6

石黒猛 ISHIGURO Takeshi

1969山梨県生まれ、育英工業高等専門学校卒業後、95年にロンドン、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート工業デザイン科修了。96年に米IDEO社入社、サンフランシスコ事務所に勤務し広くプロダクトデザイン、戦略に携わる。

98年「Rice Salt&Pepper shaker」がニューヨーク近代美術館永久保存に決まる。99年同社東京に転勤し01年退社。02年から個人で活動を開始、プロダクト、アート、舞台演出など多岐に活動中。

広報用画像

画像1~6を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、下記へお申し込みください。

金沢 21 世紀美術館 広報担当/川守(広報室)

〒920-8509 金沢市広坂 1-2-1

TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

http://www.kanazawa21.jp

E-mail: press@kanazawa21.jp

〈使用条件〉

※トリミングをご遠慮ください。画像が切れたりキャプション等の文字がかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVDなどをお送りください。

以上、ご理解とご協力を頂けますようお願い申し上げます。